

Title	新規参入に於ける競争戦略 - 既存市場への新規参入 -
Sub Title	
Author	張鎮甲(Chiyan, Chinkabu) 高橋吉之助
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第418号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0418

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 張 鎮 甲

主査 高 橋 吉之助

副査 嶋 口 充 輝

所属ゼミナール 矢 作 恒 雄 研

奥 村 昭 博

矢 作 恒 雄

新規参入に於ける競争戦略 —既存市場への新規参入—

企業が多角化の一環として既存市場への新規参入を行う際、参入対象となる市場の状況をどの様に分析し、それに基づく戦略としては、どのような戦略が有効であるかを、実際参入を行った日本と韓国の企業の中から見出そうとしたものである。

この研究に着手した契機としては、新規参入戦略（主には多角化戦略として理解されている）及び競争戦略についてなされた研究は数多く見受けられるが、新規参入を行う際、特に、競争に勝ち抜く為にはどのような戦略の組み合わせが必要であるかに関する研究はあまり見当らなかったため、それを解明して見ようと思ったのが出発点となった。

研究方法としては、まず、参入対象業界における市場の状況を分析する為のマトリクスをつくり、各象限における有効的な戦略の組み合わせを調べることにした。

サンプル企業としては、日本の企業を10社と韓国の企業を4社合わせて14社を選定し、各社における事例を分析することにした。

研究の結果としては、分析マトリクス上の夫々の象限における戦略の提案を行い、それをまとめたものを結論として出すことにした。